

シエイクスピア作『ロミオとジュリエット』による

能・ロミオとジュリエット

宗片邦義 作 (2015)

曲柄：四番目

所：北イタリア、ヴェローナ

シテ：ロミオ、モンタギューの一人息子

(前シテ：巡礼装束)

ツレ：ジュリエット、キャピュレットの一人娘

ツレ：ジュリエットの乳母

ツレ：パリス、青年貴族

ツレ：ヴェローナ大公

アイ狂言：僧ロレンス

地謡(3名)・囃子(太鼓アリ)

ロミオ「恋は優しきものなるか。恋は冷酷

残忍非情。胸刺す茨のつらさかな

「昨夜の夢の不思議なる。いかなる

星の巡りやらん

地「行方司る御力。行方司る御力。導き

給へわが行く手

〔ジュリエット、立上リ〕

ジュリ「目に見えぬ美しき隠す心こそ

美しき人の誇りなれ (舞。舞踏会)

ロミ「や。あれなる佳人ないかなる女性ぞ。

松明に燃ゆる術を教へたり。あの輝きは

この世ならず。これこそ真の美人なれ

地「忍び込む。宿敵の館その主人。気づき

たれども大人気なしと。騒ぐ男らを鎮め

華やかに。舞踏会は運ぶなり

ロシ「この舞終りたれば近づきて。その御手

にも触れ。汚れしわが手に祝福を

地「おおこの胸のときめきよ 「ロミオツレニ近づく

地「君は尊き御堂にて。君は尊き御堂にて。

その手を汚せしお咎めは。顔赤らむる二人

の巡礼。接吻にて。あとを浄めて

〔狂言口開〕

アイ 「これは、イタリア北部、ヴェローナの僧にて、ロレ

ンスと申します。さて、このヴェローナには、モンタギ

ュー家と、キャピュレット家なる、二大名家あり。されど

古き遺恨により、今なお反目いたし、争い事が絶えませぬ。

幸い、モンタギュー家の御曹司ロミオは、争いを好まぬ

好青年。されど、ロザラインなる女性に想いを寄せせるも遂

げられず、身の不幸を嘆いております。

一方、キャピュレット家には、ジュリエットなる一人娘

あり。いまだ十三歳なれど、青年貴族パリス伯爵より

すでに求婚あり。されど本人が、これをお断わり致してお

ります。

さて、そのキャピュレット家にて、今宵、仮面舞踏会

あり、ロザラインも招待されると知り、ロミオは、巡礼に

仮装いたし、キャピュレット家の館に、今まさに忍び

込まんとしております。

それではこれより、シエイクスピア原作悲劇『ロミオと

ジュリエット』を、一時間余りの、能翻案にて、お目に

かけます。なにとぞ足らわぬところは、皆様方の想像力

にて補い下さりますよう。ではまた後程お目にかかり

〔前場〕

〔無囃子デ、ツレ(ジュリエット)、乳母ヲ伴イ登場

ワキ座辺ニ着座

〔シテ登場音楽。ロミオ登場〕

さしあげん

ジュ「やさしきお手の巡礼よ。聖者にも御手は

あり。掌と掌を合わすは巡礼たちの

口づけ

ロミ「なれど聖者にも唇あり

ジュ「唇はお祈りのため

ロミ「掌には掌なれば。唇には

ジュ「祈りには応えますが。聖者は動かず

地「動きまするなその間に。わが罪そなたに

清められ ジュ「この唇に

ロミ「優しお咎め。その罪を我にお返し下さ

れい

乳母「お姫様 母上様がお呼びです

ロミ「何とこれは。キャピュレットの娘かや

地「仇敵に心臓奪はれて。すでに命は借物。

「あなたも乳母に訊ぬれば

乳母「その名はロミオ。仇の家のモンタギュー

の子

ジュ「生涯にただ一度のみと。心定めし

その方が

地「仇と知れども。後の祭り。仇を愛す運命

なれ。仇を愛す運命なれ

「ジュリエット、後ロ向キ下居。
ロミオ、二ノ松マデ下ガリ隠レル

地「舞踏会果つれども去り難く。ロミオは庭

に忍び込み。窓の開くを待ちいたり

「やがて灯りし窓灯かり。あの窓こそは

東の方。昇れ太陽わが恋人よ。わが恋人

と知らせばや。それとは知らずジュリ

エット。窓辺に現れ独り言

「ジュリエット、立上リ」

ジュ「ああロミオ様。ロミオ様。何故あなた

はロミオ様。その名も父御もお捨て

なされ。そしてわたしを恋人と。ただ

そうお呼び下されば。この身はキャピュ

レットならず

地「敵はあなたのお名前のみ。あなたのお手

もおみ足も。腕もお顔も何一つ。

仇ならず

ジュ「あなたはあなた

地「薔薇の香るはその名にあらず。あなたは

ロミオと呼ばれずも。完璧な愛しいお方。

その名を捨てて。その代わりに。私の

すべてを受けとられてよ

ロミ「されば我をただ恋人と呼び給へ

夢か現実か

地「されば新たに洗礼を受け。もはやロミ

地「幻か 「シテ、カケル」

オならず

ロミ「夢か現か。幻か

ジュ「愛し給ふやと訊ぬれば

ジュ「そなたの愛に偽りなく。まこと夫婦

地「清らなる。かの月にかけて誓ひます

をお望みなら。明日わが使いに

ジュ「いえいえ夜ごと月ごと姿を変へる。不実

御返事を。いついずこにて挙式をと

な月に誓ひまするな。恋人の誓ひなど。

地「されば私の運命は。すべてあなたに

ジョーヴの神はお笑いに。されど是非

差し上げ。世界の果てまで御伴を

にと言はるれば。あなたご自身。御身に

ロミ「そなたの小鳥ともなりたや

かけて誓ひませ。それこそわが神信じま

ジュ「いえいえ可愛がりすぎて。殺めてし

する 「いえいえやはり。誓ひまするな

まいます

地「今宵の約束喜べず。余りに唐突。無分別。

地「さてお別れは。かほどにつらく甘き

いまだこれは愛の蕾。夏の実りの風に

もの。朝までこのまま。おやすみ。

より。次の出会いに美しき。花を咲か

おやすみ。おやすみ。おやすみと 笛

せん

ロミ「眼には眠りを。胸には平安あれ

ジュ「限りなく豊かなる

地「我はその眠りとも。平安ともなり。

地「大海原より涯なく。海ほどに深い私の

そなたの胸に休まばや。親の怨恨も

愛。差し上げれば差し上げる程。私の愛も

今ははや。親の怨みもいまははや

豊かなる

「仇敵を愛す運命なれば。恨みを埋め

ジュ「どぎどぎも。共に限りなく

て新たなる。花を咲かせん。運命は。

ロミ「かくばかり。幸せなるも夜なれば。

自らつくりしものならず。生かせ

運命。仇を愛せよ。それで青春。

胸たぎらせよ灼熱の恋。これぞ青春。

真の恋路の滑らかに走りたる例なし

ロミ「行方司る御力

地「導き給へわが行く手

「ロミオ幕入り

間語

アイ（語イナガラ登場）「男心も頼めぬものよ（繰り返シ）

本当の美人が現れりや（繰り返シ）

誠の恋がまた変わる（繰り返シ）

さてさてロミオはこれまで世の常の男同様幾分浮気のところがござつたが、今度こそジュリエットによつて一途な男に変へられてしまつたようだ。すぐにも結婚させてくれとわしの所にせがんで来た。わしは争いを好まぬこの青年が好きでござる故、二人を庵室に呼び秘かに結び合せてやり申した。これが両家の和解のきつかけともならばやと。

ところがその後、ロミオの親友マーキューシオが、ジュリエットの従兄と街で出くわし、これと決闘となつた。ロミオが仲裁に入り「待て君たち、友達なんだ。剣を収めろ。喧嘩は止める」と両者の間に割つて入つた。その腕の下からマーキューシオが刺されてしまつた。怒つたロミオが、その相手を刺してしまつた。復讐はいけない。これでロミオはヴェローナ追放となつてしまつた。

それにしてもマーキューシオが刺されて死ぬとき、「モンタギューもキャピュレットも共になぐなつちませ」と四度叫んだ。この必死の叫びが私には忘れられませぬ。また追放宣言を行ったヴェローナ大公が、「人殺しの罪は涙や祈りで消えるものではない。人殺しを赦すならその慈悲は殺人も同然だ」とおしやつた。この言葉も僧侶の私の胸に突き刺さつた。確かに人殺しだけは取り返しがつくものではない。

さて、ロミオの追放を嘆き悲しむジュリエットの姿を見て両親は、いとこが刺し殺されたせいで動違ひしてすぐにもパリス伯爵と結婚させることとした。これにあわてたジ

ユリエットはわしのところに泣きついてきた。わしは二計を案じて体じゆうが硬直して冷たくなる眠り薬を飲むことを勧めた。ロミオには早馬を出して、ジュリエットは死んだのではない。四十二時間後に目が覚める。その時刻に迎えに来いと知らせればよい。

ジュリエットはその夜これを実行し翌朝は死人同様。両親も乳母もこれを自害と認め彼女をキャピュレット家の霊廟へ運んだ。

ところが早馬の方には想定外のことが起こつた。途中ペストが流行つている町で足止めされ引き返して来てしまつた。その間に「ジュリエット死す」の噂がロミオに届いた。ロミオは劇薬を買ひ求めヴェローナに戻つた。

ところがキャピュレット家の霊廟の前でライヴアルのパリス伯に出くわし、これと決闘と相成つた。何という運命のいたずらか。

ああ何という悲劇。ああ神よわが浅知恵をお許しください。人知の至らなさをお許しください。皆様にはジュリエットが愛に殉じて自害なさる、いえ、眠り薬を飲む場面から自身で覽あれ。お許しください、お許しください、お許しください。「入ル」

「後場」

「登場音楽

ジュ「愛せぬ人に嫁ぐよりは。死んでしまいたい。愛しいロミオの妻として。節操

を立てるその為には。お城の高台から

跳び下りるも短剣で自害するも恐れ

はせぬ。この眠り薬を飲めば。四十二時

間後にはロミオに会へる

「愛よ。勇気を与へ給へ。勇気さへあれ

ば何事も。貴方に乾杯

「ロミオ登場 早馬テ登場ノ体

「ジュリエット眠り薬ヲ飲ム。眠ル」

ロミ「無残やな。待ち焦がれしヴェローナからの知らせは。ジュリエットの死の知らせ

地「今やキャピュレットの靈廟に眠ると。

何たる運命。ならば運命を相手に戦わん。この毒薬こそは命の妙薬。恋路の仕上げ。靈廟がお前の出番

〔突如パリス伯、橋掛リニ登場〕

パリス「なうそこなるは追放されしモンタギユウ。悪党め生かしてはおけぬ

ロミ「我は自ら命を絶したために来りし者。我に罪を重ねさせ給ふな。立ち去り給へ

パリ「さよあの戯言には騙されず。重罪人をひっ捕らえん

ロミ「構うなど言うに覚悟せよ

〔立回り。パリス倒レル〕

パリ「情けあらばわれをジュリエットの傍らに

地「心得たりと顔覗けば。パリス伯爵。

赦し給へ。友どちよ

〔ロミオ手ヲ添へパリスヲ切戸へ〕

〔ロミオ、ジュリエットニ近ツク〕

地「横たわりたるジュリエット。その美しさ。納骨堂は。光りの饗宴

ロミ「最愛の女わが妻よ。君なぜかくも美しき。二度と再び離れはせず

地「永遠の安らぎここにあり。この世に

倦みたる肉体よ。不運の星の軌を絶て。眼よ。これが見納め。腕よ。これが最後の抱擁。呼吸の門の唇よ。その接吻もて死神の。無期限の契約書を封印せよ

地「かくてロミオは懐の。劇薬飲めばたちまちに。口づけながら息絶えぬ

「やがて目覚めしジュリエット。傍ら

に夫が横たわり。劇薬すでに空なれば。

彼が短剣あな嬉しやと。わが身に当て。折り重なって自害せる。その

潔さぞで哀れなる

〔シテ・ツレ入ル。笛アシライ

「夜回りこれを発見し。鐘を鳴らせば

何事ぞ。町中大声わめきたてたれば。

ヴェローナ大公お出ましに

〔大公、橋掛リニ登場〕

大公「われらが耳を驚かす。恐怖の叫びは何事ぞ。疑わしきを連れて参れ

アイ(僧)「逃げ隠れはいたしませぬ。この恐ろしき殺人の第一の責めは自らに。二人を夫婦にさせたるも。眠り薬を与えたるも。良かれと計りしわが浅千恵。己が人智の浅はかさ

大公「仇敵同士のご兩人。モンタギューにキ

ヤピュレット。その方たちの憎しみに。

いかなる天罰下されしか。共に跡目を

失ひし。この長年の仲違い。見過ごし

たりし我もまた。身内を一人失ひし。

罰を逃れる者はなし。またこれ僧侶の

ロレンスよ。かねて高德と聞きたるが。

人力及ばぬ大いなる。力が巧みを阻み

たり

地「これを聞きたるキャピュレット。モ

ンタギューに手を伸べて。「これぞ娘

の遺言ぞ。これに応へてモンタギュー

「かほどの純愛貫きし。わがヴェローナ

の誇りなり。されどわれらが確執の。

かく痛ましき犠牲なれば。その彫像を

純金にて。建立せんと公言す。されば

と応えてキャピュレット「ロミオの彫

像その側にと

キリ地「愛児の非業に迷い覚め。愛児の非業

に迷い覚め。怒りも解けて赦し合う。

赦す仲とはなりにける。この世に生き

ては純粹に。仇を愛せる青春は。死を

経て一つ安らかに。王者となりて蘇

る。これぞ真の愛の賜物。美はしき。

神のこの世のお浄めと

「ロミオトジュリエットノ霊、小サナ王冠ツケ

白装束ニテ現レ、相舞(中ノ舞)。ヤガテ昇天

地「かくて夜も明け訪れし。平穩の朝は

陰鬱の。太陽いまだ顔見せず。赦さる

べきは赦されて。罰せらるべきは罰せ

らる。この世の悲しき物語。ジュリエ

ットと彼女のロミオの物語

能「ロミオとジュリエット」公演にご協賛、ご後援いただきました方々に、深く感謝の気持ちをお伝えします。

国際融合文化学会

二〇一五年十一月三十日現在
(五十音順・敬称略)

「協賛者・個人」

秋山正幸	今田美奈子	岩本厚子・隆	上田道子
ウオーターズ雅代		梅内千秋	遠藤徳子
遠藤 光	大山敦彦・季代子		風間嘉郎
加藤 誠	金井 治	川田基生	川又紀夫
菊地善太		北村啓迪	M・グランドン
古波蔵剛		斎藤安正	佐藤真弓
関口澄枝		竹内正人	多田 稔
垂水謙児		富樫義雄	長瀬せい子
法月敏夫		畑江美佳	平井明余
本合 陽		本間三男	松川涙紅
水原繁美		宗片光一	松添寛之
若尾美智子		渡部英雄	吉永洋子

「協賛者・団体」

阿佐ヶ谷ワークショップ(東京都)
有限会社延命堂(熱海市)
株式会社グランデール(焼津市)
小林能装束有限公司(東京都)
株式会社三五館(東京都)
大師寺・黒川隆徳(彦根市)
株式会社ニシガイ(静岡市)
MOA美術館(熱海市)

「後援」

公益財団法人日伊協会
在日イタリア大使館
ブリテイッシュ・カウンスル